



「自分がやらなければならないことを 続けていく」ことができたか？

本年度の第1号で、メジャーリーガーのイチロー選手がマーリンズに移籍した時、入団会見で話した一部分を紹介させていただきました。そして、その話の一節を平成27年度のスローガンにします！と書かせていただきました。それが、

「自分がやらなければならないことを続けていく」ということを約束します！
という言葉でした。

私たちの進めてきた教育活動は、イチロー選手のように思慮深く、意欲に満ちた活動だったでしょうか。真摯な姿勢で、真剣に子どもたちと向き合っていると感じていただけたでしょうか。反省すべきことは山のようにあります。しかし、子ども同士のトラブルの解決に心を悩ませ、授業の準備や研究に知恵を絞り、追われる行事に時間を取られ、保護者の方々からの要望に心を砕く毎日だったということも知っていただきたいと思います。

子育ては、決してお父さんやお母さんだけの仕事ではありません。学校にすべて丸投げされることでもありません。地域も関係がないわけではありません。「子育てにそれぞれがどこまで踏み込み、どんな関わり方をしていくのか」ということを考えることが大切だと思います。そして、学校・家庭・地域の関係が今以上に成熟してくれば、新しい教育の形が生まれ、新しい活動が展開されてくるものと信じております。今はまだ「自分のやらなければならないことを続けていく」という時期なのかも知れません。

私たちは今に満足せず、見出しの

「自分がやらなければならないことを続けていく」ことができたか？

を互いに確かめ、反省しながら次年度に向かっていきたいと考えております。そして、これからも、お預かりした子どもたちの教育に職員一丸となって当たって参ります。どうか、地域の中に生きる学校として

「打って出にゃ 待っどるだけじゃ あかんでえ」

という気概に満ちた甚目寺西小学校の教育活動に、お力添えとお支えをいただきますことを心よりお願い申し上げ、本年度のお礼とさせていただきます。



—地元の特産物「醤油」づくりの出前授業—
多様な学びの場を用意した授業



—地震に強い建物の構造を学習！—
地元の皆さんとふれあいながら

最後に、私事で大変恐縮ですが、今月31日をもって定年退職を迎えることとなりました。甚目寺西小学校に赴任させていただいてから4年が過ぎようとしています。この間、保護者の皆様方だけでなく、地域の方々からもいろいろな面でお力添えをいただきました。地域の中の学校として、今後とも甚目寺西小学校の教育活動にご支援いただきますことをお願い申し上げ、4年間のお礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

甚目寺西小学校長

山 田 誠

温かい出会いとふれあ

—多くのことを学び、感じ取った1年間—

人は、人とのかかわりの中から、多くのことを学び、“人”として大きく成長していきます。今年も子どもたちは互いに気遣い合いながら、多くの人との温かい出会いとふれあいを通して、着実に成長してくれました。

